

2025.7.18 1学期終業式 校長式辞

○それでは改めて、朝の挨拶をしましょう。わかたけっ子の皆さん、おはようございます。

○4月に始まった1学期が今日で終わります。わかたけっ子のみなさん一人一人にとって、「一生懸命いっぱい」「思いやりいっぱい」で頑張れた1学期だったと思います。1年生は初めての小学校での生活や毎朝のアサガオの世話・観察、2年生は同じくミニトマト、ナス、枝豆などの世話・観察や1年生をリードした生活科学校探検、3年生は初めての理科や社会、習字やリコーダーの学習もがんばりました。4年生は初めてのクラブ活動や、日生劇場や東京タワーへの校外学習、5年生は初めての委員会活動や家庭科の学習、林間学校に向けてのさまざまな準備、6年生は最高学年としての陸上大会や、国会議事堂などへの社会科見学、そして、武里小のリーダーとして頑張ってきた日々の生活のすべて。。。

そんな皆さんの姿は、とても素敵で、かっこよかったです。

○それらの頑張りは、一人一人の成長に確実につながりました。心から拍手を送りたいと思います。みなさんも頑張った自分自身に拍手を送りましょう。

○この後、それぞれの教室で、担任の先生から通知票が渡されます。1学期に頑張れたこと、成長できたことを振り返り、しっかりとまとめをしてほしいと思います。

○そして、明日から41日間の長い夏休みが始まります。どんな風にして過ごそうかな、いろいろなことを楽しみたいなど、わくわくしているわかたけっ子がたくさんいることと思います。

○せっかくの長い休みです。海や山などにお出かけしたときなどに、体を思い切り動かしてたくさん遊ぶのも良いでしょう。興味があることをとことん調べてみるのも良いでしょう。エアコンの効いた図書館で読書を楽しむのもいいかもしれませんね。他にも、夏休みにしかできないことはたくさんあります。色々なことにどんどん挑戦して、自分を成長させる夏休みにしてほしいと思います。

○わかたけっ子が、そんな充実した夏休みを過ごすために、校長先生から1つの言葉を送ります。

「『成功』の反対は『失敗』ではなく、『何も挑戦しないこと』である。」という言葉です。

○突然ですが、皆さん「エジソン」という人を知っていますか？暗闇を照らす「電球」をはじめ、たくさんのものを発明した「発明王」です。このエジソンをはじめ、たくさん的人が言ったり、大切にしたりしているのが、先ほど紹介した『成功』の反対は『失敗』ではなく、『何も挑戦しないこと』である。』という言葉です。

○国語辞典で「成功」の反対の言葉、対義語を調べると「失敗」と載っています。ただ、エジソンは、次のような言葉も残しています。「私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ。」

○たくさんの発明品を後世に残したエジソンですが、1つのものを発明するためには、数えきれないほどの「失敗」をしているはずです。でも、それは、エジソンに言わせれば「失敗」ではない。「うまくいく方法を見つけるための1万通りの挑戦であり、それらの挑戦があったから発明に「成功」したということです。

○もしも、「うまくいかない」ことを「挑戦」だと捉えることができず、「失敗した」と思って、そこであきらめてしまったら、何一つ発明することはできなかっただでしょう。

○スポーツなどでも、同じことが言えます。メジャーリーグで大活躍している「大谷翔平選手」だって、これまでに、「うまくいかないこと」は数えきれないほどあったと思います。でも、エジソンと同じように、「うまくいかない」ことは失敗ではなく、できるようになるための「挑戦」だと信じて、何度も何度もあきらめずに努力した結果が、今の大谷選手なのだと思います。

○わかたけっ子の皆さん、先ほども言いましたが、色々なことにどんどん挑戦して、自分を成長させる夏休みにしてくださいね。皆さんの「挑戦」を、心から応援しています。

○ただし、熱中症や感染症、事故や事件に逢わないように気を付けながら、無理なく「挑戦」をするようにしてほしいと思います。

○2学期のスタートは8月29日金曜日です。全員が、怪我や事故なく、楽しく充実した夏休みを過ごして、またこの武里小学校で、一回り成長したわかたけっ子のみなさんと会えることを、先生たちみんなで、楽しみに待っています。

それでは、お話を終わりにします。